

## 江南市廃棄物減量等推進協議会 令和元年度第1回会議 会議録(概要)

●日時 令和元年5月30日(金) 午後2時00分～午後3時30分

●場所 江南市役所2階 大会議室

●出席委員(21名)

|           |           |
|-----------|-----------|
| 会長 岩井 喜美子 | 副会長 石井 進  |
| 委員 横山 史明  | 委員 高田 和明  |
| 委員 西部 茂夫  | 委員 武田 ともみ |
| 委員 多湖 直希  | 委員 古田 みちよ |
| 委員 川合 龍司  | 委員 間宮 孝博  |
| 委員 山田 沖勝  | 委員 小林 弘子  |
| 委員 古田 一二三 | 委員 望月 晴夫  |
| 委員 藤田 泰雄  | 委員 黒岩 弘子  |
| 委員 高木 則雄  | 委員 政木 幸吉  |
| 委員 荻谷 有朗  | 委員 松浦 大介  |
| 委員 堀場 敏之  |           |

●欠席委員(9名)

|          |          |
|----------|----------|
| 委員 藤澤 薫  | 委員 岩田 節明 |
| 委員 関 英司  | 委員 水野 祐助 |
| 委員 秦 公輝  | 委員 富山 賢二 |
| 委員 八木 幸男 | 委員 田中 義和 |
| 委員 馬場 智紀 |          |

●部長

経済環境部長 武田 篤司

●事務局

環境課長 阿部 一郎  
環境課 主幹 牛尾 和司  
環境課副主幹 横川 幸哉  
環境課 主任 米嵩 浩之  
環境課 書記 高田 奈美

●会議経過

■あいさつ等

○環境課副主幹

本日は、「令和元年度第1回江南市廃棄物減量等推進協議会」を開催しましたところ大変お

忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様おそろいでございますので、只今から会議を始めさせていただきます。

会に先立ちまして、始めに、経済環境部長よりごあいさつを申し上げます。

○経済環境部長

<部長あいさつ>

○環境課副主幹

部長は、他の公務がございますので、ここで退席させていただきます、よろしくお願いたします。

なお、本日の会議につきましては、新委員の方々による最初の会議となりますので、会長が選任されるまでの間、私が進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いたします。

最初に、委嘱状の交付でございますが、すでにそれぞれの席に配布させていただいておりますので、ご確認をお願いします。

それでは、初対面の方もおいでになると思いますのでここで自己紹介をお願いしたいと存じます。

○委員

<委員自己紹介>

ありがとうございました。

次に、事務局も、自己紹介をさせていただきます。

○事務局

<事務局自己紹介>

■議題①役員の選出について

○環境課副主幹

議題①、役員の選出に移らせていただきます。

役員につきましては、本協議会設置要綱第6条の規定により会長・副会長は、委員の皆様

の互選により、選出することになっていきますので、よろしくお願いたします。

まず、会長の選出について、いかが取り図らせていただきましょうか。

○委員

推薦でしょうか。

○環境課副主幹

只今、推薦とのご発言がありましたが、いかがでしょうか。

○委員一同

異議なし。

○環境課副主幹

異議なしとのことですので、どなたかのご推薦をお願いしたいと存じます。

○委員

岩井委員を推薦します。

○環境課副主幹

岩井委員を推薦しますとのご発言がございましたが、いかがでございましょうか。

○委員一同

異議なし。

○環境課副主幹

異議なしとのことですので、会長は、岩井委員をお願いをいたします。どうぞよろしくお願いたします。

次に、副会長の選出について、いかが取り図らせていただきましょうか。

○委員

推薦でしょうか。

○環境課副主幹

只今、推薦とのご発言がありましたが、いかがでしょうか。

○委員一同

異議なし。

○環境課副主幹

異議なしとのことですので、どなたかのご推薦をお願いしたいと存じます。

○委員

石井委員を推薦します。

○環境課副主幹

石井委員を推薦しますとのご発言がございましたが、いかがでございましょうか。

○委員一同

異議なし。

○環境課副主幹

異議なしとのことですので、副会長は、石井委員をお願いをいたします。どうぞ  
よろしく願いいたします。

それではここで、岩井会長からご就任のご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願  
いいたします。

○会長

<会長あいさつ>

○環境課副主幹

会長が就任されましたので、以後の会議の進行を、会長の岩井様をお願いしたいと存じま  
す。よろしく願いいたします。

○会長

それでは、議題に入らせていただきます。

■議題②令和元年度協議会事業計画（案）について

○会長

事務局より説明をお願いします。

○事務局

<事務局説明>

○会長

令和元年度事業計画（案）について事務局より説明がありましたが、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

質問等がございませんので、この事業計画案について承認いただけるかどうかお諮りいたします。

○委員一同

異議なし。

○会長

ご承認いただきましたので、今年度はこの計画に沿って事業を行っていきます。ご協力の程よろしくをお願いします。

■議題③令和元年度予算概要について

○会長

続いて、議題③について事務局より説明をお願いします。

○事務局

<事務局説明>

○会長

令和元年度予算概要について事務局より説明がありましたが、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

質問等がございませんので、次の議題に参ります。

■議題④各委員の選出について

○会長

まず特別委員の選出についてです。特別委員会規約第2条に10名以内で組織し、委員長及び

委員は協議会の互選によって選任することになっております。

まず、委員長について、どのように選出をさせていただきますでしょうかお諮りします、いかがでしょうか。

○委員

推薦でしょうか。

○会長

只今、推薦とのご発言がありました、いかがでしょうか。

○委員一同

異議なし。

○会長

異議なしとのことですので、どなたかの、ご推薦をお願いしたいと存じます。

○委員

岩井会長を推薦します。

○会長

私、岩井を推薦するとのご発言がございましたが、いかがでございましょうか。

○委員一同

異議なし。

○会長

異議なしとのことですので、委員長には私岩井が務めさせていただきます。

委員については従来、委員長より指名をさせていただいております。そのような方法で委員選出してよろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし。

○会長

異議なしとのことですので、特別委員会の委員について、ご指名をさせていただきます。多湖直希委員、川合龍司委員、古田一二三委員、望月晴夫委員、政木幸吉委員、苅谷有朗委員、松浦大介委員、堀場敏之委員、それから私、岩井で9名です。

続いて、環境フェスタ実行委員の選出について事務局より説明をお願いします。

○事務局

<事務局説明>

○会長

ただいま、事務局から説明がありましたが、どのようにお諮りをさせていただきますでしょうか。

○委員

会長一任。

○会長

ただいま、会長一任とのご発言がありましたが、いかがでしょうか。

○委員一同

異議なし。

○会長

異議なしとのことですので、環境フェスタ江南実行委員会のメンバーは、この協議会の委員全員の方になっていただき、環境フェスタに全面的な協力をいただきますようよろしくお願いいたします。しかしながら、実行委員会を進める上で、細部の企画・運営等の調整を図る必要があるため、実行委員会の役員として数名を私から指名させていただきます。

多湖直希委員、古田みちよ委員、川合龍司委員、間宮孝博委員、関英司委員、石井進委員、山田沖勝委員、小林弘子委員、高木則雄委員、政木幸吉委員、堀場敏之委員、私、岩井の12名とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

この議題について何かご質問等ございましたらご発言願います。

○委員

環境フェスタ実行委員の委員長は誰が選出されたのか。

○会長

事務局からの説明にもあったとおり、環境フェスタ実行委員会規約にて「実行委員会の役員は委員の互選にて選任する」となっていますので、環境フェスタ実行委員会の際に改めて選出していきます。

○委員

役員の選出についてわかりにくかった。理解できるような説明を求める。

○事務局

改めて会議後、役員選出についての文書を各委員へ送付します。

○委員

環境フェスタに 5,000 人という数字は少ない。根本的にイベントを考え直し、もっと産業分野を取り入れて産業環境フェスタとしてはどうか。以前にも同様の意見を申ししたが検討はされたのか。

○事務局

環境フェスタを産業環境フェスタに変更してもっと大々的に集客してやってはどうかというご意見ですが、昨年度も環境フェスタ実行委員会において議論し、また合同開催の消費生活展側とも調整をさせていただきました。その結果今年度も昨年度と同様、消費生活展と合同開催でやっていくということで進んでおりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

■議題⑤災害廃棄物処理計画（案）について

続いての議題について、事務局より説明をお願いします。

○事務局

<事務局説明>

○会長

以上。事務局より説明ありましたが、ご意見等ございますか。



○委員

東南海地震の最大想定エリアに江南市は含まれていなかった記憶があるが、今回の計画では対象となる災害の中に南海トラフ地震のモデルを想定しているということは、この辺りがエリアに入っているということですか。地震よりも風水害による木曾川の決壊の被害が多いのではと思うのですが。

○事務局

計画にあります過去地震最大モデルというのは、過去に発生した規模の大きい地震を重ね合わせたときに理論上、江南市の最大想定震度が5強ということですか。

江南市が独自に想定しているわけではなく、愛知県の災害廃棄物処理計画の中で江南市では災害の場合に何トン災害廃棄物が排出されるというものを、県の計画に則って作成したということになります。

○委員

防災安全課の話では木曾川が氾濫した場合、国の想定ではこの辺りはほとんど冠水すると聞いた。となると相当量の廃棄物が排出されると思う。それが地震で起きた決壊であれば地震による倒壊による残骸なども含まれてしまうとさらに多くなってしまいます。

○委員

この計画は誰が行うのか、行政だけでやるのか市民や企業の協力がなければできないことだと思う。どういった位置づけなのか。

○委員

6 ページの (2) に本計画の位置づけ、と記載がある。

○委員

計画作成後、それがどのように市民に理解されて、災害時にどう動くかが重要だと思う。

○委員

災害時には命を守る行動をどう取るかが最初の問題になってくる。その後で家が汚れたとか

物が流れたとか問題が発生してゴミがいっぱい増えてしまっただけをどうしようかという問題に対しての計画だと思う。各自が自分である程度片付けをして、排出されたものをどう集めてどう処理するかを考えている。

○委員

防災の市民ボランティアは災害時の対応について年に何回か訓練をしている。この計画についても市民に対し情報公開、共有化、訓練等どうしていくのか。

○会長

事務局、ここまでの質問に対して説明をお願いします。

○事務局

この計画をどのように市民の方に周知し理解してもらうのが重要ではないかという意味で受け止めましたが、よろしいでしょうか。

計画作成段階ですので現時点でこの計画はもちろん公表されておりません。今後、この計画を策定するにあたって、パブリックコメントで市民の方に広く意見をいただく予定です。計画が策定された際は市ホームページや広報こうなんにおいて報告させていただきます。

その後、防災計画の修正を担当課に依頼し、それに基づき、災害廃棄物についての研修を行うなど進めていきたいと思っております。

○会長

必要な事項を示すと記載があるためまずはこれを基本としてこれから順番に協議されていくことと思います。

○委員

一時的な仮置き場というのが気になる。計画の段階でもある程度場所の候補はあるはず。

○事務局

愛知県災害廃棄物処理計画における借り置き場必要面積査定に基づきますと江南市では1, 135㎡必要だと想定されております。この規模ですと、大きな公園やグラウンド等が該当し、

計画内でリストアップしていますが、災害時に使用できるかというところが、被害内容によっては使用できない場合もあるため現時点では計画内で明言は避けているところです。

○委員

この災害廃棄物処理計画はいわば三角のピラミッドの頂点に位置するもので、計画に対しての細かいことはそれぞれの分野で、その時に決められていくのです。災害の状況によって仮置き場も変わってきますし、仮設避難所の位置も変わってきます。

災害が起きてどういう状態になっているということを市の方に報告して、市の対策本部が判断し、県の助成をうけて処理していく、という流れになっていくわけですから、今ここで細かなことまで議論しても結論は出せないということで、ひとつ理解していただきたい。

○会長

大変わかりやすい説明だったと思います。

○委員

市民と行政が力を合わせて、ということがここには一切書かれていない。計画が上手く市民に浸透するか、災害時に何も力を発しないというのは恥ずかしい。

○委員

防災計画は本来我々が議論することではないが、災害廃棄物処理計画を議論しようとするとうちでも防災計画のことが出てきてしまう。

○委員

この協議会には市民の代表として区長や公募委員、し尿処理や道路・土木建築関係で協力いただく企業の代表者の方もいますし、題名に廃棄物がつく以上この協議会を通さないわけにはいかないと思います。

市として災害廃棄物処理計画を作成していく上でこの協議会を通過してから議会等に話を進めていく。こういった計画ですから計画倒れになったほうがもちろん良いが、いつ何が起きるかわからないため国や県より計画の策定を求められている。これは大事なことだと思います。

○委員

ゴミ処理場やし尿処理場が壊れた場合。借り置場のごみが処理できないので、汚水や悪臭という問題がある。これは決して関係ない問題ではなくて災害廃棄物をどのように環境汚染がないように保管してもらうか、市民の方は知らないといけない。

また、処分先の確保というのは非常にむずかしい。近くのゴミ処理場が全て壊れてしまったら、その期間遠くの他府県へ運搬しなくてはいけない。それでも受け入れ能力には限りがあるから、計画に基づいて少しずつ処理していくしかない。その間近くにゴミの山ができると、認識しておかないといけないと思う。

○会長

意見も出揃ったようですので、次の議題に参ります。

■議題⑥その他について

○会長

事務局より説明をお願いします。

○事務局

<事務局説明>

- ・平成30年度ごみ減量「57運動」実施事業報告について
- ・平成30年度江南丹羽環境管理組合ごみ搬入量について
- ・平成30年度江南市レジ袋削減推進委員会収支報告について
- ・令和元年度一般廃棄物処理実施計画について
- ・ごみ減量啓発キャンペーンについて

○会長

以上の報告等について、ご意見等ございますか。

○委員

P.18の一人当たりのごみの量が空白ですが。

○事務局

平成30年度の数字につきましてはまだ出ていないため空白となっております。

○会長

意見も無いようですのでこれもちまして協議会を終了します。

本日は、長時間にわたりご審議を賜り、ありがとうございました。